

# 月刊 あなたにこの本を！ 平成 25 年 10 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ

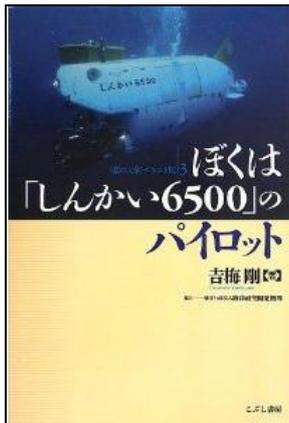


…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの( )内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。



## ぼくは「しんかい 6500」のパイロット

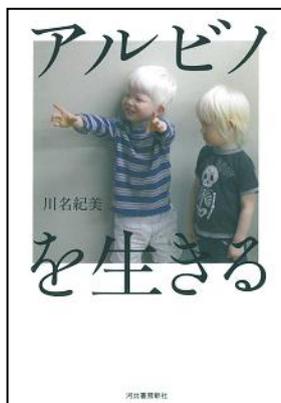


吉梅 剛 著

こぶし書房 1890 円 (0012768197)

ジャンル：自然環境を考える

深海潜水調査船のパイロットだった著者が、深海調査での体験や機体整備の様子などを語る。「しんかい 6500」が海にもぐる仕組みや、海中でどのように調査を行っているのかが、写真や図版を交えてわかりやすく紹介される。潜水中のトイレ事情、電池の故障や魚網の巻き付きなどで、海底で動けなくなった時の対処法といったコラムも充実している。深海調査を支える人々の仕事ぶりが明らかにされ、学術研究とは違った視点から深海の世界が楽しめる。[452]



## アルビノを生きる

川名紀美 著

河出書房新社 2310 円 (0012755186)

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

アルビノは、メラニン色素が足りないため肌や体毛が白く、多くは視覚障がいに伴う遺伝性疾患だ。著者は、当事者の会を立ち上げた青年との出会いから、アルビノの人たちの取材を始めた。子どもは持たないと決めた男性、青い目の赤ちゃんにとまどう母親など、それぞれの経験が丹念につづられる。彼らは外見による偏見にさらされ、就職や結婚などで高い壁にぶつかりながらも、自分らしく生きている。誰もがありのままに受け入れられる社会について考えたい。[493.12]



## おみやげと鉄道 —名物で語る日本近代史—

鈴木勇一郎 著

講談社 1575 円 (0012684119)

ジャンル：知識・教養を深める

江戸時代の旅のお土産といえば腐らず軽い手工業品だった。近代以降に鉄道が開設されたことで、現地で食べるものだった名物が、郷里に持ち帰るお土産に変化していった。著者は、赤福やきび団子などを例に、名物がお土産として確立されていく経緯を解説する。日持ちをよくするための改良や駅構内での立ち売りによる宣伝、鉄道で帰郷する兵士への予約販売など、鉄道の果たした役割は大きかった。身近なお土産にも日本の近代史が詰まっている。[688.5]

**ぼくは、図書館がすき — 漆原宏写真集 —**

漆原 宏 著

日本図書館協会 2940 円 (0012732980)

**ジャンル : 暮らしにうおいを**

全国各地の図書館の日常を 86 点の写真で紹介する。年配男性に人気の新聞閲覧コーナーでは、集中した顔が並ぶ。雨の日の自動車図書館では、レインコートの職員が、傘をさした女の子を「よく来たね」と優しく出迎える。ボランティアの読む絵本に、赤ちゃんと両親が身を乗り出し、興味津々に見つめる。図書館は人が集い、出会い、ゆるやかにつながることができる場所だ。人々の穏やかな表情や笑顔からは、図書館を愛する著者の思いが伝わってくる。〔016.21〕

**縄文人に学ぶ**

上田 篤 著

新潮社 756 円 (0012752589)

**ジャンル : 歴史・文化に親しむ**

建築学者の著者は、歴史学や最新の考古学の成果等を幅広く取り入れ、大胆な縄文文化論を展開する。家の中では靴を脱ぐ、南向きの部屋を好むなど、現在の暮らしのもとには縄文時代の文化が息づいているという考察にはうなずかされる。また、縄文社会は母系制社会で、飢饉もなく平和で一万年以上続いたという。そこで父系制社会である現代日本が抱える様々な問題を解決するために、縄文人の知恵が役立つのではないかと提唱する。熱い語りに耳を傾けたい。〔210.25〕

**桜がなくなる日 — 生物の絶滅と多様性を考える —**

岩槻邦男 著

平凡社 798 円 (0012753398)

**ジャンル : 自然環境を考える**

かつて、ありふれた野草だったフジバカマが、乱獲により絶滅危惧種に指定された。著者は、いま絶滅の危機にある植物を紹介し、全国で見られる桜もいつか絶滅するかもしれないという。その美しさで人を魅了する植物もあれば、食糧として役立つ植物もある。身近な植物がとりあげられており、危機的な状況が実感をもって伝わってくる。様々な生物が同じ環境で関係性をもって生きている姿を守ることは、人生を豊かにするという主張には説得力がある。〔468〕

**くまモンの秘密 — 地方公務員集団が起こしたサプライズ —**

熊本県庁チームくまモン 著

幻冬舎 861 円 (0012697000)

**ジャンル : 暮らしにうおいを**

熊本県PRキャラクター「くまモン」は、登場の翌年には「ゆるキャラグランプリ」で優勝した。県庁職員らで構成される「チームくまモン」が、その活動の舞台裏をユーモラスに語る。1万枚の名刺を配り、失踪事件を演出して知名度をあげたり、キャラクターの使用料を無料にするなど、さまざまな取り組みが行われた。成功の秘訣は、綿密な計画や戦略だけでなく、幸せな気持ちになってもらおうとする熱意と柔軟な発想だと知ることができる。〔601〕

**今を生きるための現代詩**

渡邊十絲子 著

講談社 798 円 (0012736071)

**ジャンル : 知識・教養を深める**

詩人の著者が、人生の折々に詩とどう関わってきたかを語り、難解と言われる現代詩の魅力を伝える。中学生の時、著者は謎に満ちた入沢康夫の詩に出会い、「強くあざやかなわからなさ」に魅了された。何度も詩を読み返し、時間をかけて「わからなさ」に向き合うたびに、新たな自分を発見する過程が詩の面白さだと著者は言う。本書は、詩の作者の思いを性急に読み解くのではなく、自身の感じ方を大切にす、ゆとりある詩とのつきあい方を示してくれる。〔911.5〕